

令和6年度 宮崎県立宮崎東高等学校 学校評価						
教育目標	自ら求めて学び、すすんで社会に貢献する、人間性豊かな生徒の育成をめざす				学校関係者評価のポイント ・自己評価の項目や指標は適切に設定されているか。 ・自己評価の結果は、指標等を基にした妥当なものであるか。 ・自己評価の結果を踏まえた成果と改善策は適切であるか。  ※ 自己評価、学校関係者評価とも、A～Dの4段階評価とする。	
経営方針	豊かな人間性を有し、心身ともに健康で自信と誇りを持って社会生活を送り、地域社会に貢献できる生徒を育てる (1)多様な学びの場の提供 (2)将来を展望した在り方・生き方の確立 (3)基礎学力の定着と授業力の向上					
本年度の重点目標	(1)責任を果たす学校 (2)個性の溢れる学校 (3)信頼される学校 (4)開かれた学校 (5)元気のでる学校					
重点目標	評価項目	具体的指標	自己評価		学校関係者	
			成果と課題・改善策		評 価	評価・具体的意見
(1)責任を果たす学校	①知・徳・体の力を確実に修得させる。	○基礎学力テストの実施  ○単位習得率の向上 夜間部 90%以上、昼間部 85%以上 通信制 65%以上	B		B	○多様な生徒が在籍している貴校において、生徒の学力の実態把握や個に応じたきめ細かな指導等の成果が単位修得率の向上に繋がっている点は大いに評価できる。 ○テストの工夫や生徒に寄り添った進路指導など、現状に即した対応がなされている。 ○夜間部では、業者テストを辞めて自主作成し、新入学生徒の学力把握に努めている。また、生徒を支援する上で、通信併修などの工夫は、生徒中心の取組として大切なことだと思います。 ○通信制では、担任と教科担当者との連携で単位修得率を向上させたということで、配慮を要する生徒達に対しては最も大事なことと思います。
	②進路目標を達成させる。	○進路目標の達成 夜間部 90%、昼間部 90% 通信制 70% ○卒業資格の達成 夜間部 90%、昼間部 90%				☆進路目標の達成については、単に数値目標のクリアに留まらず「社会や企業が求める力」をどう身に付けさせるか等の観点から、より早い段階から意図的・計画的なキャリア意識の醸成・支援に努めて頂きたい。 ☆不登校生徒が多く入学するようになり、不登校だった背景も多岐にわたり、それに対応できるよう学校も工夫する責任があると思います。中学校から、配慮する情報など得ておくシステムなどを、SCやSSWなどと協議してその内容を工夫することも考えられると思います。 ☆卒業後の進路などが多く取り上げられていますが、中退や進路が決まらない生徒もいると思います。卒業後ひきこもり状態になるとどこからも支援を受けられなくなります。保護者等にはそうなった場合、相談したり活用できる場所などについての情報も伝えておく必要があると思います。
(2)個性の溢れる学校	①一人ひとりのよさを認める。	○学校生活アンケートの実施  ○部活動の活性化	A		A	○生徒理解のための面談やアンケート、居場所カフェの設置や教育相談など、個性を尊重するための工夫が行われている。 ○面談を多くしたり、学校行事への参加、部活動を新たに増やすなど生徒が参加しやすい工夫がなされていると思います。 ○通信制ではICT教育の活用で学校参加がしやすくなり、スモールステップで学力や社会参加が促進されると思います。  ☆不登校・経済的困窮・発達障がい等により、自己肯定感の乏しい生徒が少なくないと思います。今後とも一人ひとりの良さを認め、これからの社会を生きる共通科目(国語、数学、英語など)の高校時代に身に付けておくべき基礎学力の向上・定着やキャリア教育の推進・充実に粘り強く組織的な取組をお願いしたい。 ☆全ての生徒に「自信と誇り」を持たせる教育を展開していただきたい。
	②個性を伸ばし、自己肯定感を高める。	○学校行事参加率の向上 夜間部 文95%、体90% 昼間部 文90%、体85% 通信制 文15%、体20%				
	③個に応じた学びの環境整備	○ICT活用による学びの補償 教材開発や講演等の充実 ○教育相談体制の充実(通級含む)				
(3)信頼される学校	①服務規律の遵守に努める。	○全職員に対する面談等の実施と各種取り組み コンプライアンスに係る報告・相談 コンプライアンスチェックシートの活用	B		B	○服務規律の遵守や危機管理意識の向上のために、学校全体で様々な取り組みを展開されていることに敬意を表します。今後とも職員の共通理解に基づく組織的指導体制の確立に、尚一層努めていただきたい。  ☆外部からは見えにくい分野であるため、一層の取り組みに期待したい。特に危機管理意識は社会のことを自分事としてとらえる学習として大切な課題だと考える。
	②危機管理意識を向上させる。	○各種職員研修等の取り組み 危機管理マニュアルの見直し 防災訓練・AED研修等の実施 感染症対策・情報セキュリティ				
(4)開かれた学校	①地域や保護者の期待に応える。	○指導力向上の取組 研究授業・教員相互の授業公開の実施 生徒による授業評価や振り返り 保護者への授業公開の実施  ○積極的な情報発信	A		A	○総合的な探究の時間に関する夜間部の優秀賞の受賞はすばらしい!その取組と結果は称賛に値する。高く評価したい。 ○地域や保護者に開かれることで、子どもたちの対応や意識も成長している。個性を輝かせる学校として飛躍している。  ●生徒による授業評価の結果や振り返りの記載がありませんが……。結果を教えてください。 ●生徒への授業アンケートを例年通り2回実施して、「授業改善に生かした」とか県教委による教科総合の指導助言を「授業改善に生かしていく」などの記載があるが、具体的な授業改善の内容・取組が知りたい。
	②評価結果の公表により、説明責任を果たす。	○学校評価の実施と活用 評価内容の公表と連携				
(5)元気のでる学校	①連携を密にし、「活力あふれる」職場環境を構築する。	○校務分掌を中心とした組織的な体制づくりの推進(報告・相談等)  ○福利厚生事業の充実	A		A	○今後とも様々な研修等を通して、生徒への的確な支援を行うと共に職員の指導力向上に努めていただきたい。また、「活力あふれる」職場環境の構築に向けた取組を応援しております。 ○教職員の方々の研修や報連相による現状把握によって、先生方のエンパワーが発揮できる学校となっている。
	②各種研修等により、資質の向上に努める。	○各種研修会への参加 県教育研修センター等主催研修				☆これからの社会で、生徒が「生きる・学び続ける」上で、どのような学び方や特性が必要となるのか。是非とも検討していただきたい。
					その他	学校行事に参加すると、生徒たちのあいさつや気遣いを感じることもある。来客を尊重していて非常に心地よいことがあった。心の落ち着きを感じて嬉しく感じた。